

講演要旨

サウジアラビアへの技術移転について

西尾 清光 千代田化工建設株式会社、特別顧問

1. 四半世紀に及ぶサウジ他の研修生の受け入れの実績

(1) 研修実績

1976年から25年間にわたり160余名の大学生、続いて企業内技術研修を継続実施。更には研修生の対象を他の中東諸国に拡大。

(2) 受け入れの経緯

1975年当時の(故)玉置明善社長がKFUPM大学に協力を申し出、始まったもの。

(3) 研修実施の概念

サウジアラビアの産業振興に貢献するためには、プラント建設だけでなく、人材の育成に(一会社の枠を超えて)日本が協力する事が重要であるとの認識から、ダーランにある名門大学(KFUPM)の卒業前学生の必修科目である6ヶ月間の企業研修プログラムに協力。

(4) 研修目的・内容

企業における実務体験を通して、技術の実体を学ぶとともに、企業での組織・規律・責任態度を体得する事や、プラント建設に係わるプロセス機械、制御等の設計及びプロジェクトエンジニアリング等。

研修生の中にはサウジアラビアをはじめ各国の経済行政分野での要人として活躍している人はかなり多い。

e.g. SSP Project の顧客である SHARQ の現社長 Mr. Mohammed Al-Jabri は第2期研修生。

2. 石油・化学プロジェクトを通じてのサウジ及びその周辺国の経済社会発展での協力貢献

- ・ 1962年(故)玉置社長を団長としてサウジアラビア国の要請に基づき「サウジアラビア天然ガス開発利用調査団」の中東出張。
- ・ 本日ご参列の当時アラ石の林様のご紹介でヤマニ石油大臣と親交をもつ。
- ・ 1966年サウジアラビア ジェッダ製油所の建設契約が調印され、同国において千代田最初のプラントを完成させた。
- ・ その後2期拡張建設工事、リヤド、ヤンブーと大型製油所プロジェクトが続き、サウジアラビア各地での建設を行い、同国の工業発展・社会開発に貢献してきた。
- ・ 直近受注は JUPC 向けエチレンプラント(2001年11月)
(天然ガスを工業的に有効利用するという技術的可能性の調査は、62年に派遣された調査団の目的のひとつであった。)
- ・ これまでにサウジアラビアで石油化学プラントプロジェクトの実績 26件、中東地域全体(除くサウジ)で 41件の建設実績を有し、この地域での工業開発に大きな貢献をしてきた。

3. 今後経済の技術協力

直近受注の JUPC 向けエチレンプラントの如く、天然ガスを利用した工業化開発プロジェクト等に多く協力していきたい。